

## 事業所一覧

### 本社工場

〒672-8035 兵庫県姫路市飾磨区中島字宝来3067-17 TEL079-233-3353 FAX079-233-6262

### 配車センター

〒672-8035 兵庫県姫路市飾磨区中島字宝来3059-6 TEL079-233-3131 FAX079-233-3133

## 工場

### 木くずリサイクルセンター

〒672-8035 兵庫県姫路市飾磨区中島相生梅2104

### エコレンガ工場

〒672-8035 兵庫県姫路市飾磨区中島字宝来3059-24

### 大津工場

〒671-1132 兵庫県姫路市大津区勘兵衛町2丁目89-1

### メンテナンスヤード

〒672-8035 兵庫県姫路市飾磨区中島字宝来3059-23

### 中島資材センター

〒672-8035 兵庫県姫路市飾磨区中島字宝来3059-6

### 真砂工場

〒671-1136 兵庫県姫路市大津区恵美酒町2丁目104

## グループ関連企業一覧

### 株式会社環境保全サービス

〒672-8035 兵庫県姫路市飾磨区中島字宝来3067-17

### 播磨企画株式会社

〒676-0082 兵庫県高砂市曾根町2466-13

### 株式会社共生

〒672-8035 兵庫県姫路市飾磨区中島字宝来3059-23

### 株式会社西部興産

〒731-1523 広島県山県郡北広島町南方13456-8

### 株式会社河金組

〒689-2213 鳥取県東伯郡北栄町上種字オバガ谷85-8

### 有限会社スギサワテック

〒708-0842 岡山県津山市河辺字岡田98-17

### 有限会社エコ・マテリアル

〒672-8079 兵庫県姫路市飾磨区今在家1113-5

公式HP



himejikankyo.co.jp/

Instagram



@himekan\_group

facebook



@himekan.group



適用範囲：本社・本社工場/中島工場/木くずリサイクルセンター



2022年3月発行

このパンフレットは石灰石から生まれた環境に優しい新素材 LIMEX を使用しており、石油由来樹脂の使用を削減しています

# CSR レポート 2021

Corporate Social Responsibility Report

Earth is us.



株式会社 姫路環境開発  
HIMEKAN GROUP

工場エリアマップ



## 企画・編集

株式会社姫路環境開発

事業本部 総務課 マーケティングチーム

## 発行年月

2022年3月

## お問い合わせ先

株式会社姫路環境開発

事業本部 総務課 マーケティングチーム

〒672-8035 兵庫県姫路市飾磨区中島字宝来3067-17

Tel:079-233-3353 / Fax:079-233-6262

<https://www.himejikankyo.co.jp/>

## CSRレポートに関するアンケート

本レポートに関するアンケートにご協力いただいた方には、毎月抽選で20名様に500円分のギフト券をお渡しいたします。右のQRコードからアクセスしてください。ご協力よろしくお願いいたします。



# 環境のために 立ち向かう。



# より良い未来のため、 今、環境にできることを

HIMEKANグループでは、「地球環境へ限らない挑戦!」というスローガンを掲げ、持続可能な社会の実現に向けたチャレンジを続けています。

産業廃棄物処理事業を行う当グループだからこそ、環境活動を通して発信するメッセージは深い意味を持つと考えます。そして、そのメッセージを最も伝えたいのは、次世代を担う子どもたち。

当グループでは、体験を通して自然環境の大切さや尊さを学ぶ機会を提供。また、私たちも体験を共有して活動意義への理解を深め、自身の成長につなげています。

このような活動実績を、ステークホルダーや地域の皆様にお知らせすることで、当グループにより一層の信頼を寄せていただきたいと願い、2019年度から「株式会社姫路環境開発CSRレポート」を作成してきました。

私たちは、環境保護に向けた一人ひとりの継続した行動と意識が、やがて大きな成果を生むと信じています。社訓「安全・正直・誠実・謙虚」を胸に、より良い未来づくりのための社会貢献に力を尽くします。

# HIMEJIKANKYO CSR REPORT 2021

[株式会社姫路環境開発 CSRレポート]

02	目次
03	社長インタビュー
04	HIMEKANホールディングス会長挨拶 関連企業
	<b>沿革</b>
05	経営理念/社訓/組織図
	<b>リサイクルフロー</b>
07	解体事業
08	収集運搬業
09	分別・リサイクル
10	エコレンガ製造
	<b>BCP (事業継続計画)</b>
11	レジリエンス認証
12	事業継続への取組み 2021年実績
	<b>DXの推進</b>
13	優れたDX人材と共に業務改革に着手 nauto導入
14	2024年度達成目標 これまでの活動紹介 DX化に向けたベースを構築
	<b>働き方改革</b>
15	スマイルカード/社員駐車場
16	グリーンカード/家庭リサイクル
17	社内教育制度 1年目から3年目の新入社員ステップアップ
18	コロナ対策 ～感染症対策行動指針の作成と実施～
	<b>CSR活動</b>
19	ボトルキャップ回収活動/海のごみ調査隊
20	広域清掃/姫路城 花の植え替え
21	フードドライブ活動 SDGs 私募債1/SDGs 私募債2
22	ひめかんエコファーム



## 社長インタビュー

# 「2021 HIMEKAN CSRにこめた想い」



株式会社姫路環境開発  
代表取締役 **梅崎 晃平**

### チャレンジされていることはなんですか？

「社員よし(社員満足度を高める)」「お客様よし(接客対応能力を向上し、お客様に還元する)」「地域よし(地域の信頼を得て共生する)」の3本を柱に環境分野へ貢献し、社会的責任を果たしていきたいと考えます。現在は、優良運転手やコンサルタント営業の育成、最新鋭のプラント設備の導入、社内システムのクラウド化などに取り組んでいます。

### 目標にされていることはなんですか？

2つあります。1つは、社員全員がいつも笑顔で業務に励み、働きがいや喜びを実感できる「いい会社」を目指しています。もう1つは「労働災害ゼロ」です。現場で働く社員たちが安全・安心に作業を行えるよう、職場環境の整備に努めています。



### 2021年の活動を振り返ってどうでしたか？

「安全経営宣言」を掲げ、安全を最優先にした業務を推進し、社員たちの努力で現在34万時間の無災を継続しています。また、コロナ禍による社内行事等の自粛で社員間交流が難しくなったため、新たなコミュニケーションの形を模索し、確かな手応えが得られました。

### これまでの実績をお教えてください

フードドライブ活動、地域清掃活動、地元スポーツチームへの支援、子どもたちの農業体験、姫路城周辺の緑化活動、環境教育学習、海洋ごみ調査活動、森林環境保護活動、ボトルキャップ運動への参加などに真摯に取り組ましました。

### 2022年度の目標

コロナ禍で休止しているフードドライブ活動や海洋ごみ調査活動などは、時勢を鑑みて再開したいと考えています。また、廃棄物リサイクル率のアップや資源循環の推進にも取り組む予定です。BCPは実地訓練の実施や関連企業との連携も視野に入れながら、働き方改革も加速させ、社員満足度をさらに追求していきます。

### 会社として2030年までに達成すべきゴールナンバーをお教えてください。

<p><b>2</b> 削減をゼロに</p> <p><b>フードドライブ活動</b></p> <p>増加する生活困窮者を救済するため、「食品ロス」を有効活用。必要としている人へ食料を届ける支援を継続する。</p>	<p><b>3</b> すべての人に健康と福祉を</p> <p><b>ボトルキャップ回収活動</b></p> <p>回収したボトルキャップを売却し、売却益をワクチン購入資金としてNPO法人に寄付する活動を引き続き行う。</p>	<p><b>8</b> 働きがいも経済成長も</p> <p><b>働き方改革の実施</b></p> <p>産休制度を充実させ、社員食堂の導入やリモートワークの整備を実現する。また、スマイルカードやグリーンカードも実施する。</p>	<p><b>9</b> 産業と技術革新の基盤をつくろう</p> <p><b>DXの推進</b></p> <p>社員間コミュニケーションツールの運営、契約書や manifests の電子化、分散勤務によるテレワークの導入などを実現する。</p>	<p><b>11</b> 住み続けられるまちづくりを</p> <p><b>BCP(事業継続計画)の策定</b></p> <p>災害に備えBCPを策定し、レジリエンス認証を取得。社内感染症マニュアルも作成するなど、事業継続への取り組みを拡充する。</p>	<p><b>12</b> つくる責任 つかう責任</p> <p><b>廃棄物の再利用</b></p> <p>2025年のリサイクル率目標は75%、2030年はさらに高められるよう処理方法を検討し、混合廃棄物のリサイクル強化に努める。</p>	<p><b>14</b> 海の豊かさを守ろう</p> <p><b>海洋ごみ調査活動</b></p> <p>地元学生らと底引き網漁船で海のごみを採取し、海洋調査研究の材料とする活動を通じ、環境教育に取り組む。</p>
--	---	---	---	--	--	---

# ホールディングス化によって 新たな価値を生み出し続ける事業モデル



HIMEKANホールディングスは、サステナビリティ(MOS)、イノベーション(MOT)、経済効率性(MOE)の3つの基軸を一体的に実践し、新しい価値の創出を目指しています。加速度的に変化する社会ニーズや環境・社会課題を起点に、企業理念、価値基準のもと、HIMEKANホールディングスが課題解決に寄与できる事業群を成長事業領域と特定し、持続的成長に向けた価値創造サイクルを推進しています。



株式会社HIMEKANホールディングス  
代表取締役会長 **山本 益臣**

## グループ各社との連携

Group Company

<p>最終処分場 <b>株式会社河金組</b></p> <p>〒689-2213 鳥取県東伯郡北栄町上種字オバガ谷85-8</p>	<p>最終処分場 <b>株式会社西部興産</b></p> <p>〒731-1523 広島県山県郡北広島町南方13456-8</p>	<p>一般廃棄物収集運搬業 <b>株式会社環境保全サービス</b></p> <p>〒672-8035 兵庫県姫路市飾磨区中島字宝来3067-17</p>
<p>中間処分場 <b>有限会社エコ・マテリアル</b></p> <p>〒672-8079 兵庫県姫路市飾磨区今在家1113-5</p> <p><b>株式会社姫路環境開発</b></p> <p>〒672-8035 姫路市飾磨区中島字宝来3067-17</p>	<p>産業廃棄物収集運搬業 <b>播磨企画株式会社</b></p> <p>〒676-0082 兵庫県高砂市曾根町2466-13</p> <p>エコレンガ販売 <b>株式会社共生</b></p> <p>〒672-8035 兵庫県姫路市飾磨区中島字宝来3059-23</p>	



# 私たちは持続可能な地球環境や社会の実現に貢献します

## 経営理念

安心・安全・適正な総合リサイクルセンターを目指し、社員全員が参加し、自らが学習し、価値観の共有化ができる組織。限らない資源を生み出す企業として、時代に合った顧客のニーズに対応するためのシステム。人材育成が企業を育て、社員が満足して仕事のできるシステム。廃棄物を通じて、社会に必要な企業を作る。

## 社訓

- 安全** 安全第一 些事を怠るな
- 正直** 自分に正直に生きよ
- 誠実** 他人に誠実に応えよ
- 謙虚** 何事にも謙虚に振る舞え

## 1988

1988 会社設立



1988 産業廃棄物収集運搬業 (兵庫県・姫路市・神戸市) 許可取得

1994 産業廃棄物収集運搬業 (積替保管) 許可取得

## 1994-2000

- 1994 産業廃棄物処分業 (中間処理) 許可取得
- 1999 有限会社から株式会社に組織を変更
- 2000 ISO14001 認定取得



## 2001-2006

- 2003 資本金3,000万に増資  
第二工場を木くずリサイクルセンターとして稼働
- 2004 新社屋・本社工場竣工、稼働を開始
- 2005 広域清掃活動開始
- 2006 エコレンガ製造事業開始



## 2007-2010

- 2007 花とレンガのエコフェスタ開催
- 2008 まちかど100M クリーンアクション表彰
- 2009 河金組M&A
- 2009 ボトルキャップ回収活動スタート
- 2009 ひめかんエコファームにて芋掘りを実施



## 2010-2019

- 2011 播磨企画M&A
- 2016 西部興産M&A
- 2016 環境大臣賞受賞
- 2016 姫路城 季節の花の寄せ植え鉢を寄贈
- 2017 スギサワテックM&A



## 2018-2021

- 2018 ・エコ・マテリアルM&A  
・ヴィクトリーナ姫路エリア スポンサー
- 2019 ・フードライブ活動開始  
・妻鹿小学校にて環境学習実施 (第1回)
- 2020 賢明女子学院共同企画 「海のごみ調査隊」始動
- 2021 レジリエンス 認証取得



## 組織図





# 現場における廃棄物から リサイクル工場へ

受入量 **208,176.23 t/年**

## 解体事業

産業廃棄物の収集運搬業、中間処理を行う処分業といった姫路環境開発の得意分野を活かし、解体工事から廃棄物の処理まで一貫して対応させていただきます。また、産業廃棄物処理の知識を駆使し、リサイクル推進を念頭に置いた、廃棄物の種類ごとの分別解体を行います。安心・安全・適正処理をモットーに、お客様に寄り添った丁寧な解体工事を目指しています。

建築物の中にはアスベストを含む有害物質が付着している設備が存在する可能性があります。アスベスト(石綿)は人が吸入してしまうと人体に悪影響を及ぼす可能性のある鉱物です。そのため、アスベストを除去する際は通常の解体時に比べ特に注意が必要となり、法に則った適切な処置を行う必要があります。2022年4月1日からは、建物の解体及び改修等の工事では石綿の有無の事前調査の報告が義務化されます。

法改正が頻繁に行われるアスベストについても姫路環境開発では対応が可能です。解体工事に合わせてアスベスト含有の有無を調査し、作業計画を定め、飛散防止対策を十分とった上で処理しています。

アスベスト処理実績  
**5,000m<sup>2</sup>**

木造住宅解体実績  
**50件/年**  
(2021年12月現在)

## 収集運搬業

バックン・コンテナと呼ばれるサイズの異なる収集運搬容器で様々な現場に対応。また、ユニック車やツカミ車、ダンパー車などの豊富な車両を駆使し、多種多様な廃棄物に合わせた運搬方法をご提案いたします。

姫路環境開発が保有する収集運搬業の許可は、近畿・中四国を中心に19の自治体で取得。特別管理産業廃棄物の許可を合わせると31の許可を有しています。幅広いネットワークで安全性と効率性を兼ね備え、お客様のご要望に柔軟に対応いたします。

収集運搬車両

車両数 **55台**

ユニック車/20台	コンテナ車/17台
ダンパー車/1台	ツカミ車/2台
ダンプ車/6台	土砂ダンプ車/9台

収集運搬容器

舟型バックン	奥行 :2,000mm 幅 :1,500mm 高さ :1,100mm 重さ :300kg	中型コンテナ	奥行 :3,600mm 幅 :1,900mm 高さ :1,000mm 重さ :1,000kg
大型コンテナ	奥行 :5,900mm 幅 :2,300mm 高さ :1,800mm 重さ :3,000kg	分別カート	奥行 :1,130mm 幅 :1,130mm 高さ :1,100mm 重さ :250kg



再資源化量

# 145,202.76 t/年



廃棄物の回収から中間処理、最終処分まで一貫通貫した処理の中で、廃棄物の選別を徹底して行い、再資源化に注力した、地球にやさしい適正処理を実施しております。今後は各品目、特に廃プラスチック類のリサイクル向上に努め、2025年には全体のリサイクル率を75%まで高めることを目標に、持続可能な循環型社会の構築を目指していきます。

★2025年目標リサイクル率 75%

**廃プラスチック**  
6,108.37t  
硬質・軟質、発泡スチロール



**ゴムくず**

**ガラス陶磁器くず**  
75,852.93t  
保温材、瓦、レンガ、ガラス  
蛍光灯、石膏ボード

**建設汚泥**  
8,149.87t

**紙くず**  
1,169.39t  
ダンボール、クラフト紙

**金属くず**  
2,405.94t  
鉄くず、アルミくず、  
ステンレスくず

**がれき**  
73,677.39t  
コンクリート、  
アスファルトがら



RPF



ペレット

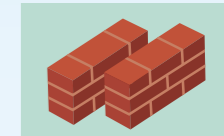


木材チップ



路盤材  
7,030.6t

エコレンガとは廃棄物や副産物（砕石・砕土・溶融スラグ・グラスウール・瓦くず）を原料としています。焼かずに高密度化し自然乾燥で固化する無焼成固化技術を用い、レンガの製造を行っています。無焼成なので本来焼成する時に使用する化石燃料を使用しません。そのため二酸化炭素の発生を抑え、地球温暖化防止に寄与し、エコロジーでエコノミーな製品となっています。



エコレンガ製造

**特徴** 再資源化比率74%以上  
無焼成製造、無廃棄製造、無排水製造

その他、再生原料・製鋼原料など



**木くず**  
40,654.12t  
ベニヤ板、木製パレット

**繊維くず**  
158.22t  
畳など

**木くずリサイクルセンター**



# 社員の能力発揮への支援制度や働きやすい職場作りに取り組んでいます。



## レジリエンス認証

2021年11月、姫路環境開発はレジリエンス認証を取得しました。これは、2019年のBCP作成以来、修正を重ねて発災後対応手順や組織の見直し等、改訂を行なって提出した我社のBCPが認証団体から正式に認められたということです。今後も更新改訂を継続し、さらなる事業継続範囲の拡大に努めてまいります。

内閣府ではこれまで、「防災・減災、国土強靱化のための3か年緊急対策」「防災・減災、国土強靱化のための5か年加速化対策」を推進されてきました。その取組の一環として、内閣官房国土強靱化推進室は様々な災害発生等への備えである「事業継続(自助)」に関する取り組みを積極的に行う団体を認証する「国土強靱化貢献団体認証(レジリエンス認証)制度」を創設。のちに、社会・地域でのコミュニティ活動等も評価対象に含めた「社会貢献(共助)」も追加しています。

この認証制度を普及することで事業継続の積極的な取り組みを広げ、社会全体の強靱化を進めることを目的としています。



姫路環境開発ではBCPを作成していく中で、レジリエンス認証がBCPの認証の中でも最高峰の認証・登録となっていること、また専門家から第三者の目で審査していただくことで、多角的に自社のBCPを再検証でき、実行力のあるマニュアルになることから、認証取得に至りました。これまで行ってきた清掃活動や災害ごみの受け入れ、寄附金支援金等の実績が認められ、姫路環境開発は事業継続・社会貢献の2つの点で認証を取得しています。



## 事業継続への取組み 2021年実績

### ・災害対策本部研修会の実施【実施状況:年1回】

BCPマニュアル等を用いて事業継続対応を検討する会議。

#### 目標

各部門の管理者により、各部門での対策案、課題提起を定期的実施。それを全社で発表・検討・実行できる仕組みづくり。

### ・災害対策本部実動訓練の実施【実施状況:年1回】

発災～災害対策本部設置までを実際に行い、初動対応の流れをシナリオに基づいて検証。

#### 目標

年2回以上の実施。防火・消火訓練、避難訓練、救助・搬出訓練等と合わせてBCP総合防災訓練に組み込み、範囲を拡大して実施。



### ・安否確認訓練の実施【実施状況:年3回】

社内ツール「LINEWORKS」および防災機能付き無線機「HT906M」を用いて、外出・休暇中の社員も含めた訓練を実施。回答率も回を追う毎に増加。毎回、前回実施時の1.2~1.3倍と増加し続けている。

#### 目標

年3回以上の実施。回答率100%、さらに確認体制も万全にして返信率100%。

### ・防災機能付き無線機「HT906M」の導入

【実施状況:災害対策本部実動訓練、避難訓練時に使用】

現在、計15台を保有。電話、SNSに変わる第三の連絡手段と考えている。

#### 目標

「初動対応訓練」「BCP総合防災訓練」の際の連携に使用する。

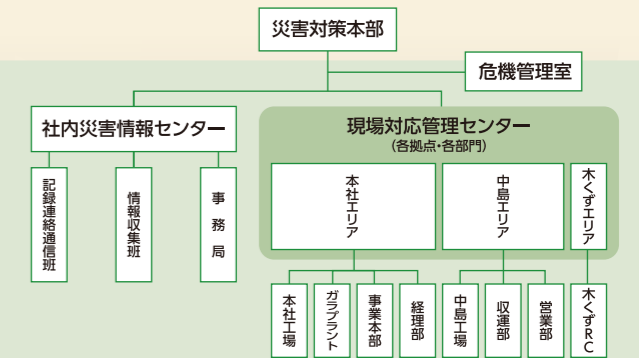


### ・BCP総合防災訓練の実施【実施状況:年3回】

「初期消火」「応急手当」「救出搬送」を実施。合わせて、BCP机上訓練(緊急時初動対応後の業務洗い出し、優先順位決定の訓練)も実施。

#### 目標

年2回以上の実施。訓練範囲の拡大(主要拠点間での情報収集/発信および業務機能代替に関する連携)(災害対策本部の組織図配置)



訓練等実施後は、すべてアンケートを実施しております。社員からの指摘・疑問を抽出して次回実施時に向けた改善の仕組みづくりにも取り組んでいます。

### レジリエンス認証取得について

「レジリエンス認証」は2年間の事業継続机上&実動訓練の記録、事業継続戦略を持ち、BCP(事業継続計画)の基本方針を社員が理解し、一定レベル以上のBCPがあり、かつ、更新計画・改善計画・進捗計画がマネジメント出来ている企業に対してレジリエンス推進協議会が国土強靱化貢献団体として認証を発行します。株式会社姫路環境開発様は、その厳しい面接を乗り越え認証を受けました。さらに地域貢献も実施しているとのことで、ゴールドマークの取得となりました。地域インフラの一部を担う企業として、真剣に毎年訓練を重ねた結果、災害・パンデミック・インフラの停止に対する事業継続力は確実に対応力を上げておられます。



株式会社BCPJAPAN  
山口泰信様



# DXの推進を加速させ 静脈産業界をリードしていきます。

## 優れたDX人材と共に 業務改革に着手

コロナ禍で急速に進むデジタル化の波は、すでに静脈産業界にも押し寄せています。私たちが業界を生き抜く上で、DXへの迅速な対応は急務であり、専門知識を持つ人材の必要性を痛感しました。そこで2021年度より外部から1名のデジタルアドバイザーを招き、DXの推進に注力しています。

### 大石デジタルアドバイザーからのコメント

静脈産業界では思うようにIT化が進まず、紙を使った業務、大量のデータを人の手で入力する業務などが多いように思いました。今後、AIや自動運転技術などの様々な革新的な技術が世の中に生まれ、普及していくと思いますが、これまでと同様に紙でのやり取り、電話での受付、人手でのデータ入力を行っているはこのような新たな技術を取り込めず、早い時代の流れに取り残されて行ってしまいます。

今後も継続的な会社の繁栄を考えると今後、出てくる新たな技術にも即座に対応できるようなシステム作りが急務だと考えます。これまでと同様のやり方の方が当然、楽かもしれませんが、デジタル化の必要性を丁寧に説明し、かつその影響を極力小さくしながら進める事がデジタル化を浸透させていくには大事だと考えています。今後は様々なシステムやサービスを組み合わせながら、デジタル化を実現し人間はよりクリエイティブな仕事に従事できるように進めて行きたいと思えます。その結果、お客様により良いサービス提供ができると考えています。

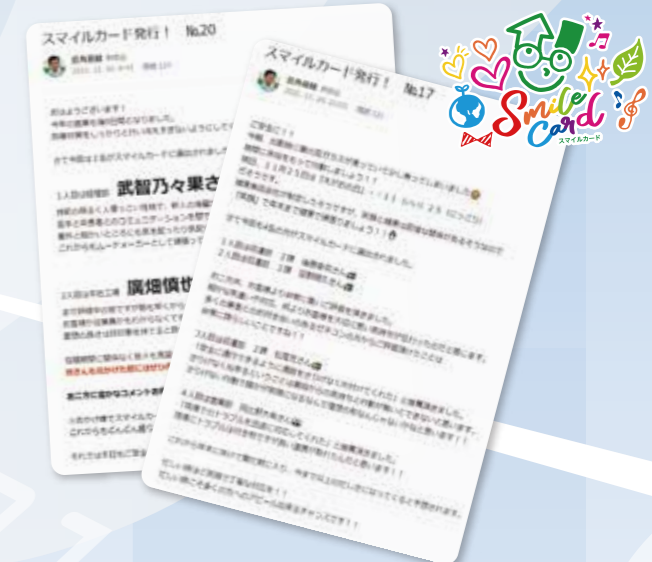


## 2024年度達成目標

近い将来、トラックは自動運転となり、機械や設備はIoT化され、配車手配や回収依頼などの業務もAIに代わると予測しています。姫路環境開発では時流を敏感にとらえ、優れた先端技術は意欲的に導入していきたいと考えています。そのために、まずは携帯電話やPC、タブレット端末があれば、場所に縛られず、効率的に仕事ができる環境を確立することが重要です。DXにより快適なワークスタイルを叶え、業務意欲の向上を図ります。

## これまでの活動紹介

姫路環境開発では、2020年より「LINE WORKS」と「Zoom」を導入。業務の促進やスムーズな情報共有、社員間コミュニケーションの活性化などにつながっています。また、電子契約書や電子決済も取り入れ、管理や締結にかかるコストと時間を削減し、ペーパーレス化にも寄与しています。



## nauto導入

姫路環境開発の収集・運搬車両には、更なる安全と事故防止のために、2種類のAIを搭載した最新のドライブレコーダー「nauto」を導入しています。運転手の目線や位置情報、車間距離等を計測するAIと、その記録を自動的に振り分け保管するAIにより、管理者が常に状況を把握し、改善できる体制を整えることができます。

## nautoが搭載された車を実際に 運転したことがある運転手より

無意識に目を逸らしてしまっていたことや、目視で安全だと思っていた車間距離が適正距離でなかったことに気づくことができました。



## DX化に向けた ベースを構築

今後は、クラウドストレージ「Box」と業務アプリ構築のクラウドサービス「kintone」の導入を予定しています。導入後は、旧社内サーバーからの移行を速やかに行い、現在使用しているツールと検討中のツールを「kintone」に連携して業務環境を改善し、各部門のデジタル化を進めていきます。



# 社員みんなが笑顔で働ける 魅力ある会社づくりを目指しています。



## スマイルカード Smile Card

スマイルカードは、『笑顔溢れるいい会社』を目指し、「楽しく」「明るく」「元気に」社員、お客様、地域を笑顔にする振る舞いをした方や笑顔が素敵な方に贈られるものです。社員からの推薦となっており、2021年4月から始めてすでに50名近くが推薦されています。スマイルカードが発行されたマスク越しでも伝わる笑顔が素敵な社員にはたくさんの社員が祝福のコメントを送っており、部署の垣根を越えお互いの行動を称え合える関係が築けています。

## 社員駐車場

3か月にも及ぶ工事の末、2021年6月に社員用の駐車場が完成しました。通勤に自家用車を使用する社員が大半を占める中、社員の要望に応えるべく施工に至りました。砂利道だった地面もきれいに舗装され、走行・歩行時の快適性や安全性が高まりました。また、立体駐車場になったため、駐車できる台数が大幅に増え、増員した場合でも対応可能となりました。駐車場のみならず、今後も社員満足を追求していきます。又、防災の観点から、水害が起きた際に避難場所としても利用できます。




## グリーンカード

「称賛」に着眼点を置き「いい行い」をした人にグリーンカードが発行されます。発行毎に1P進呈し、10Pで表彰されます。社員が笑顔で働ける職場づくり「いい会社！魅力ある会社づくり！」を目的とし、社員満足の向上！顧客満足の実現！地域社会への貢献！を目指します。


### 森 大亮さんへの評価コメント

国旗・社旗・安全衛生旗の掲揚を行ってくれています。上げ下げだけでも大変ですが、旗が汚れた時は洗濯し、綺麗な状態も維持してくれています。




### 高崎 海広さんへの評価コメント

路上のゴミ拾いをしながら出勤してくれています。誰に指示されたわけでもなく自ら率先して環境に取り組む姿は本当に素敵です。



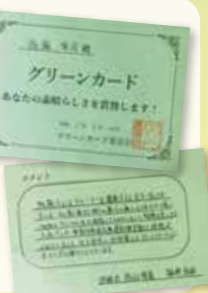
### 大久保 祐介さんへの評価コメント

毎日、朝早く出社し、神棚の世話を継続して行っています。社員の模範となります。



### 後藤 幸司さんへの評価コメント

トレーラーを運転すると天下一品で、とても分かりやすい地図をデジタル化で保存してくれているのに敬意を評します。入社9ヶ月、無事故無違反無遅刻無欠勤で頑張ってくれているのと、自ら率先し他部署ともコミュニケーションを取り、打ち解けてくれています。



## 家庭リサイクル

リサイクルを推進する為に、まずは自分たちができることから始めました。社員の家庭から出るペットボトルや空き缶を会社に設置している専用ボックスにて回収。リサイクルに貢献した社員を表彰するほか、売却益を社会貢献活動や社内イベントに活用しています。





## 社内教育制度

人材育成の強化は、姫路環境開発が目指すビジョンを実現させていく上で重要なテーマであると考えています。目まぐるしく変化する情勢にいち早く対応できる・活躍できる人材を創出するために、人材育成の構築に取り組んでいます。

中でもエコスタッフ・ジャパン様が運営する優良セールス検定を積極的に取り入れています。優良セールス検定とは、産業廃棄物業界の専門知識だけでなくビジネススキル・接遇などを学ぶことができる検定です。

この検定の受験により社内・社外教育を客観視できるほか、法改正が頻繁に行われる産業廃棄物処理業界において必要不可欠な法令順守につながり、お客様である排出事業者にも全国基準で「安心・安全」を提供いたします。

姫路環境開発様はコロナ禍前からも教育を重視され、その積極性を評価する「ESJアワード」を2018年、2019年と連続受賞されました。ESJ(エコスタッフ・ジャパン)は全国の優良処理企業のネットワークであり、教育研修を通じ業界の信用と品質を高めていく組織です。全国の錚々たる企業群においての貴社の取組・受賞に敬意を表しますと共に、更なる切磋琢磨を期待しています。



エコスタッフ・ジャパン株式会社  
代表取締役 田部和生

## 1年目から3年目の 新入社員ステップアップ



## コロナ対策 ～感染症対策行動指針の作成と実施～

新型コロナウイルス感染症流行下において、緊急事態宣言・まん延防止等重点措置・医療体制の逼迫・感染者の増加に伴い、社内向けに感染症対策行動指針を令和2年4月より実施、継続しております。感染症対策行動指針の内容は行政の対応や情勢を考慮しながら、災害対策本部を設置して議論を重ね、常に追加・変更して対応してきました。その回数は、20回を有に超えており、行政の対応や社内の状況を踏まえて、常に最善の対応を検討してまいりました。具体的な対策として、お客様の来社・訪問のお断り、各種会議はオンラインにて実施。アクリル板の設置、換気、使用後の机・椅子の消毒に加え、従業員には継続して不織布マスクの着用と体調管理表の記入を義務付け、昼休み時間の分散を徹底して行っております。各々が、病原体を持ち込まない、持ち出さない、拡げないために行動しております。



## 産休制度を活用いただいている上谷さんに直撃インタビュー



### 産休を取得する時の会社の対応は？

私の前に産休を取った方が1名いましたが、6.7年経っていたので吉田先生(社労士)と相談しながら取りました。吉田先生に何度も市役所に行って相談していただいたおかげもあって、対応もスムーズでした。延長していただいた時の対応も早く、周りは手続きに時間かかるという声が多い中で、ひめかんは手続きも早かったです。



### 普段はどのように過ごされていますか？

コロナ禍なので、基本は家です。1人目の保育園でクラスターになってしまい、あまり歩けない状態が続いています。熱など症状はないですが、保菌している可能性が十分高いので、周りにうつしてしまうのではないかと不安で、外に出られません。



### 産休中、育休中で嬉しかったエピソードはありますか？

産休、育休があるおかげで家に居れるので、その分子供たちとずっと一緒にいることができます。子供の成長を見ることが一番嬉しいです。



### 復帰したらどんな働き方がしたいですか？

復帰時の勤務時間は時短になります。上司からは、時短と言えど6時間と決めずに6時間でも7時間でも好きなように好きな時間帯で働いたらいいよと言ってもらい、意向に合わせていただけるので本当に助かります。





# 地域・社会貢献活動の一環として、環境美化と心豊かなまち・人づくりに貢献しています。



## ボトルキャップ回収活動

団体や企業様からペットボトルキャップを回収し、リサイクル業者に売却した売却益をワクチン購入の資金として「認定NPO法人JCV世界の子どもにワクチンを日本委員会」に寄付しております。マテリアルリサイクルを促進し、焼却処分に伴うCO<sub>2</sub>排出を抑制、地球環境と子どもたちを笑顔にする活動です。



## 海のごみ調査隊

賢明女子学院様との共同企画として、播磨灘の海洋ごみを調査する活動を昨年より実施しています。過去4回出漁の中で、ペットボトルや他国のお菓子の袋、漁網やロープ等のプラスチックゴミが確認されています。環境学習にもつながり、海の清掃活動としても有意義なものとなっています。



## 広域清掃

地域の環境美化への貢献と地域の方々への感謝を込めて、毎月第一月曜日に本社がある地域の清掃活動を行っています。全社員総出で行うこととコロナ禍もあり、2021年は実施回数5回となかなか実施に至りませんでした。ですが、2005年から続くこの活動を絶やすことなく、少しでも安全できれいな美しいまちづくりに貢献できるよう今後も継続してまいります。



## 姫路城 花の植え替え

姫路環境開発は、環境に配慮した社会づくりを目的とした緑化事業の一環として、世界文化遺産である姫路城に季節のお花を毎年、春と秋頃に寄贈しています。別名「白鷺城」の愛称で親しまれる真っ白な姫路城を背景に、今年の春からはサンビリーバブル(ひまわり)とペゴニア・ワッパーが、秋からはストック、ビオラ、アリッサムが華を添えました。この活動は、2016年の全国産業廃棄物連合会青年部協議会の近畿ブロックから始まりました。その翌年の2017年から活動を姫路環境開発が引継ぎ、現在まで続いています。





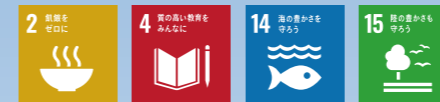


## フードドライブ活動

日本では売れ残りや食べ残しによって廃棄される「食品ロス」が問題となっています。その一方で食物が不足し、貧困生活を強いられている人々も数多く存在しています。姫路環境開発ではフードドライブ活動を毎月行い、集まった食品等はフードバンクはりま様から食料を必要としている方々へ届けていただいています。

### NPO法人フードバンクはりま 辻本様からのコメント

2021年は新型コロナの影響もあり、困窮する家庭が増えました。保育園や学校が休みとなることで仕事を休まざるを得なくなり、収入が減ってしまいました。そして、ギリギリで生活していたひとり親家庭は、たちまち食べることもできなくなりました。生活に余裕がなくなると心にも余裕がなくなり、イライラしてしまう。延いては虐待につながってしまう。そのようなことが起こっている支援先もありました。厳しい現状です。フードバンクはりまとつながった家庭は支援ができますが、フードバンクの存在を知らずに困窮している家庭がまだまだあると思います。私たちは、この活動が全ての困窮する家庭に伝わることを願って活動していきます。



## ひめかんエコファーム

自然の中で育つ食物、生物たち、それらを直接目にする機会は減ってきています。ひめかんエコファームでは、社員がサツマイモや落花生を育て、収穫の時期には近隣の保育園児を対象に収穫体験を行っています。この体験は子ども達の食育にもつながっています。



### あこう子供食堂さんへの寄付

今年は「あこう子ども食堂」代表の岩崎様にお越しいただき、ひめかんエコファームで収穫したサツマイモを寄付しました。感染症が流行している間は子ども食堂を中止し、必要とするご家庭にお弁当や食材の提供を行っています。岩崎様の目標は、みんなが豊かな生活を送ることができ、このような支援活動が必要なくなることです。姫路環境開発もその未来を目指して、様々な支援活動を行って参ります。



## SDGs 私募債1

「ごうぎんSDGs私募債」から医療機関への寄付を行いました。姫路環境開発では、社内・従業員の感染対策はもちろん、医療機関への支援も行っています。常に最前線で働く医療従事者の方々の負担を少しでも減らせることを祈っています。



## SDGs 私募債2

「りそなグループSDGs推進私募債」から、SDGsに関連する団体へ寄付を行いました。姫路環境開発は、SDGsが掲げる「誰一人取り残さない」誓いに賛同しています。SDGs目標達成とより多くの方に支援の輪が広がることを祈っています。



### 飾磨保育所からお礼のお手紙をいただきました

